

山陽～九州新幹線N700系（8両編成）の バリアフリー設備のご案内

（2021年7月1日現在）

©作成・半沢一宣（はんざわ・かずのり）

N700系（8両編成）は、2011年3月12日（土曜日）の九州新幹線全線開業に合わせて、山陽～九州新幹線直通列車用として営業運転を開始した車両です。

JR西日本が保有する車両には7000代、JR九州が保有する車両には8000代の車両番号が付けられていますが、仕様は同一で、共通運用されています。

車いす対応座席（次ページの配置図で「H」と表記）

7号車の9番A席と10番A席（山陽新幹線内で瀬戸内海側）が車いすからの乗り移りに便利なよう通路向きに回転する構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。また通路をはさんだ9・10番のCD席が介助・同伴者用の席として、9・10番A席と共に一般席とは別枠で管理されています。

このうち9・10番A席は、2020年3月14日のダイヤ改正から、車いすの人からの予約が無い場合でも一般向けに発売されることはなくなりました（9・10番CD席は当日朝から一般向けにも発売されます）。

多目的室（次ページの配置図で「M」と表記）

改良型ハンドル式電動車いすに対応した構造のものが7号車の新大阪寄りにあります。（玄界灘側）

座席の枕を取り外し座面を手前に引き出すと簡易ベッドになります。

車いす対応トイレ（次ページの配置図で「O」と表記）

7号車の新大阪寄りに、ベビーベッド（おむつ交換台）、ベビーチェア、オストメイト用設備などを併設した多機能トイレがあります。

またすべてのトイレには火災報知器が設置されており、トイレ内で喫煙すると警報音が鳴るようになっています。

洗面所

7号車の新大阪寄り（多機能トイレの向かい）に車いす対応構造のものがあります。

公衆電話

8号車の鹿児島中央寄りに車いす対応構造のものがありましたが、2021年6月30日限りでサービスを終了しました。

飲料自動販売機（次ページの配置図で「V」と表記）

3号車と7号車の鹿児島中央寄りに設置されていますが車いす対応構造ではありません。

緊急通報装置

各車両の客室両側の文字案内表示器部分に非常停止ボタンがありますが、乗務員と対話できるインターホン機能付きの物は設置されていません。

受動喫煙の発生状況

N700系では全席禁煙ですが3号車と7号車の博多寄りに喫煙ルームがあり、たばこ煙がドアの隙間から通路へ漏れ出すことによる受動喫煙が発生していることが、営業列車での粉じん濃度測定調査によって判明しています。

また喫煙ルームが存在することにより、喫煙を終えて自席へ戻ったばかりの人が肺の中に残っているたばこ煙を呼吸と共に吐き出すことになるため、これに起因する受動喫煙（Third-hand Smoke = 三次喫煙）が、すべての席で発生する可能性があります。

乗車・調査の実施記録

（丸数字は3ページ以降に掲載の写真を撮影した列車を示します）

2014年2月8日（土曜日）新大阪9時20分発鹿児島中央ゆき「さくら549号」
（博多 鹿児島中央間で7号車9番A席に乗車）

車両番号・7号車 = 788 - 7707

（JR西日本S7編成、2010年・近畿車輛製）

2019年8月4日（日曜日）新大阪8時59分発鹿児島中央ゆき「みずほ605号」
（新大阪駅発車前に調査）

車両番号・7号車 = 788 - 8708

（JR九州R8編成、2011年・川崎重工製）

2019年8月4日（日曜日）新大阪9時17分発鹿児島中央ゆき「さくら549号」
（新大阪 岡山間で7号車9番A席に乗車）

車両番号・7号車 = 788 - 8710

（JR九州R10編成、2011年・近畿車輛製）

2019年8月5日（月曜日）広島6時05分発博多ゆき「こだま821号」
（広島駅発車前に調査、所定500系のところ当日は臨時の車両変更）

車両番号・7号車 = 788 - 7713

（JR西日本S13編成、2011年・川崎重工製）

2020年8月5日（水曜日）新大阪8時55分発鹿児島中央ゆき「みずほ605号」
（新大阪～博多間で7号車8番D席に乗車）

車両番号・7号車 = 788 - 8709

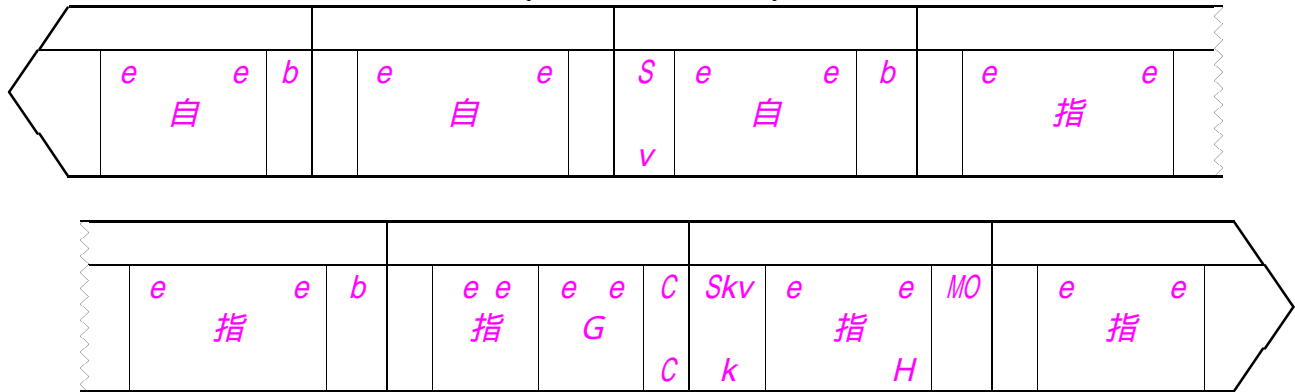
（JR九州R9編成、2011年・川崎重工製）

N700系（8両編成）の車内設備の配置図
（指定席／自由席の区分は「さくら」の場合を示しました）

（博多南）博多
鹿兒島中央
鹿兒島中央

（ひかり・こだま）
（みずほ・さくら）
（さくら・つばめ）

新大阪
広島・新大阪
博多



凡例

- 指 = 普通車指定席 自 = 普通車自由席 G = グリーン車
- H = 車いす対応座席 M = 多目的室
- O = 車いす・オストメイト対応トイレ（ベビーベッド・ベビーチェア付）
- b = 車いす非対応トイレ（ベビーベッド付）
- c = 車いす非対応トイレ（ベビーチェア付）
- v = 飲料自動販売機（車いす非対応）
- C = 車掌室 k = 車内販売準備室
- = AED（自動体外式除細動器） S = 喫煙ルーム
- = パウダールーム（女性用更衣室）
- e = 緊急停止ボタン（インターホン機能無し）

斜字 = 受動喫煙が発生している禁煙車



山陽～九州新幹線N700系（7000代はJ R西日本、8000代はJ R九州が所有）



N700系8000代の車いす対応座席



N700系8000代の車いす固定ベルト



N700系8000代の車いす対応座席の
点字による座席番号案内装置



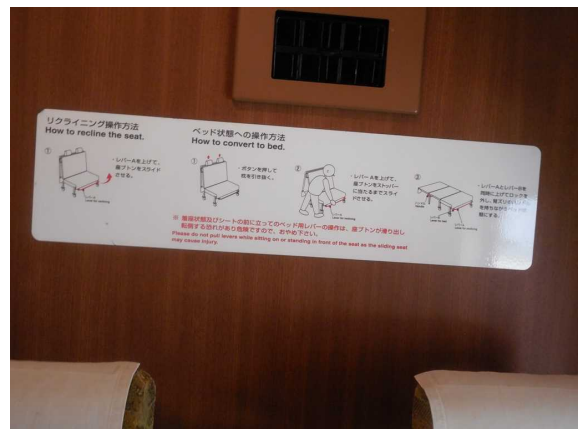
N700系8000代の多目的室の外観



N700系7000代の多目的室の内部
構造は東海道・山陽新幹線用16両編成の
ものと同一
（新大阪駅での折り返し清掃作業中に
ホームから撮影）



N700系8000代の多目的室の案内表示
右下には点字での案内も見える



N700系8000代の多目的室内の座席を
簡易ベッドにするための操作案内



N700系8000代の多機能トイレ



N700系8000代の多機能トイレの
中にあるオストメイト対応設備



N700系8000代の多機能トイレ内の
緊急連絡用ブザー
左下と中央の手すりの上との
2ヶ所に設置されている



N700系8000代の多機能トイレ内の
喫煙防止装置



N700系8000代の車いす対応洗面所
左下には車内専用の車いす（バギー）の
格納庫がある



N700系8000代の3号車の
車いす非対応公衆電話

（電話機設置位置の高さの違いに注意）



N700系8000代の8号車の
車いす対応公衆電話



N700系7000代の7号車の
車いす非対応の飲料自動販売機
奥は車内販売準備室と喫煙ルーム
3号車の飲料自動販売機も同一構造



N700系8000代の6号車の2番D席付近に
設置されているAED



N700系7000代の5号車のパウダールーム（女性専用更衣室）





N700系7000代の車いす対応座席（右下）と非常ボタン（左上）との位置関係
非常用ボタンは号車番号表示の下にあるため車いすの人は手が届かない



左の写真の非常ボタン部分



N700系7000代の非常用ボタン